

社会貢献の取り組み

For The Future

日本電機工業会、および日本ロボット工業会の会長就任について

このたび、当社会長 中山真が社団法人日本電機工業会の会長に、また当社社長 利島康司が社団法人日本ロボット工業会の会長に就任いたしました。

日本電機工業会 (JEMA) は、産業用・家庭用電機メーカを中心とした正会員187社、賛助会員94社からなる業界団体で、今年創立60周年をむかえます。

日本ロボット工業会 (JARA) は、正会員45社、賛助会員93社からなる業界団体で、ロボット製造業の振興を図るとともに、広く産業の高度化や社会福祉の向上に資し、ひ

いては国民経済の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的としています。

会長就任を機に、今後とも両業界全体の発展、社会への貢献にいつそう尽力してまいります。



JARA会長に就任する当社利島社長

JEMA会長に就任する当社中山会長

■お問合せ先: 人事総務部 広報グループ TEL 093-645-8810 FAX 093-631-8837

陸上部NEWS

詳細情報は <http://www.yaskawa.co.jp/activities/track-field/index.html> で公開しています。



今シーズン、積極的なレース展開で自己記録を大幅更新した久保田選手 (ゴールデンゲームズinのべおか)

選手の声:

今年度のトラックレースは5000mで3年半振りに自己記録を更新でき、一安心しています。これからの夏合宿を充実させたものにし、一皮剥けて秋のロードシーズンに臨みたいですね。

久保田 大貴

年度が変わった4月から6月までの間、当社陸上部はトラック種目を中心に活動しました。多くの選手が自己記録を更新したり、トップでフィニッシュするなどの活躍を見せました。

勝負強さの面では、春季延岡記録会や九州実業団陸上、ゴールデンゲームズinのべおかなどの競技会で、同レベルの選手で実施する組別5000mを中本健太郎、北島寿典、黒木文太選手がトップでフィニッシュしました。特に北島選手はラストスパートを得意とし、黒木選手は中盤から後半にかけて比較的早い段階で勝負を決めるといった展開が多く見られ、勝ちパターンを確立したようです。

新人の種子野輝夫選手も、九州実業団陸上の20歳以下で行われるJr1500m、5000mで圧倒的な強さを見せて優勝し、将来に期

待を持たせる走りでした。

また、入社3年目で21歳の久保田大貴選手もスタート直後から先頭集団での積極的なレース展開に変わり、鞘ヶ谷記録会5000mで自己記録を大幅に更新しました。今年の秋に、どれくらい成長しているのかが楽しみな選手です。

小畑選手は記録的にもう一步だった10000mで自己新記録を出し、その勢いで日本選手権に出場。これで10000mでも安定した走りができる足がかりを掴んだのではないのでしょうか。

また、北海道マラソンを狙う下森直、中本健太郎、立石慎士の3選手と岡田徹選手は札幌国際ハーフマラソンに出場し、順調な仕上がりに見せる走りでした。

選手は夏場の合宿を経て、秋以降のレースへと繋げていきます。楽しみにお待ちください。

◆2008年4月～6月の主な戦績

日程	大会名	実績
4月 20日	日本選抜陸上和歌山大会	5000mで日本人3、4、5位を安川が占める。
4月 29日	春季延岡記録会	中本、北島選手が組別5000mでそれぞれ1位。
5月17～18日	九州実業団陸上	新人の種子野選手がJr1500、5000mで優勝。10000mで3名が自己新。
5月 31日	ゴールデンゲームズinのべおか	組別5000mF組で黒木選手が自己新のトップでフィニッシュ。北島選手もC組トップでフィニッシュ。小畑選手が最終A組を日本人3位でフィニッシュ。
6月 7日	鞘ヶ谷記録会	5000mで、平野、久保田、種子野選手が自己新。
6月 11日	ディスタンスチャレンジ深川大会	10000mで小畑、黒木選手が自己新。
6月 15日	札幌国際ハーフ	4名が出場。
6月26～29日	日本選手権	10000mに小畑、北島選手が出場し28分台。5000mの小畑選手は13分台でフィニッシュ。